

札幌大谷大学同窓会

OTANI 真^{しん}心^{しん}会

同窓会だより

第38号 平成26年10月10日発行

〒065-0016 札幌市東区北16条東9丁目1番1号

札幌大谷学園百周年記念館内

電話・FAX 011-743-6466

<http://www.sapporo-otani.ac.jp/dousoukai.php>



第 39 回 谷の音会コンサート
於：キタラ小ホール



第 1 回 谷の会展
於：大丸藤井セントラル





札幌大谷大学

学 長

岩城孝憲

同窓会の皆様におかれましては、本学のために、いつも変らぬご高配をたまわり、深く感謝申し上げます。有難うございます。

すでに、本山（京都・東本願寺）の『同朋新聞』などでも報道されていますが、「憲法九条にノーベル平和賞を」という署名運動があり、神奈川県に住む一主婦が発案者で、すでに数十万人の協賛の輪が広がっているそうです。人類は、戦争を、国家間・民族間の紛争解決の手段としてきて何千年、報復がやむことがない。ところが、紛争の解決の手段としての戦争を放棄し、軍備も放棄することを、人類史

上はじめて宣言したのが、日本国憲法第九条です。人類の叡智をもって、別な方法で解決しようとするのです。

仏教の思想は、平等と平和であると言われています。一人ひとりのいのちは平等であり、いのちの願いは、共に生きる世界であります。仏典に「兵戈無用（兵隊も武器も無用）」とあり、「宮商和して自然なり（ドとレのような隣同士の不協和音も不協和音のまままで和音になっていく）」とあるように、より高い次元の精神に触れると、紛争や対立は越えられること、それは人間の本来のいのちの願いなのです。

故レナード・バーンスタイン氏は、天安門事件を批判して、二十五年前、P M F の開催地を北京から札幌へ変更させたと聞きました。「音楽に国境はない。音楽は世界の共通語だ」と言われます。芸術やスポーツもまた、紛争や対立を越えて行ける精神に触れうる人類の叡智を表すものであり、本学も、そういうまなざしの人であふれる大学でありたいと思います。



札幌大谷大学同窓会

会 長 小原明美

音楽科14期

秋も深まり、紅葉の美しい季節となって参りましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

各科同窓会が解散し、真心会に一本化されて三年目に入りました。

昨年は谷の音会コンサート、今年六月には谷の会展、そして今月末にキッズフェスティバルを開催し、これで真心会主催の各行事がワンサイクルすることになります。

昨年より何度も話し合いを重ね、大幅な見直しを行いました。会費納入方法、会則、又新しく設けました支部規程も、今年度、来年度から施行され、さらにホームページを充実することで住所変更、新情報の提供など新体制での同窓会活動が軌道に乗っていることを実感しております。

これからより時代に合った新しい同窓会活動を行っていくためには、各科の主張をしっかりと受け止めながらも、その垣根を越え、いろいろな角度からものを見て判断する姿勢で取り組んでいかなくてはなりません。

若い方達の新しい感覚と勢い、年齢を重ねた方々の豊富な知識と経験。

世代を越えた人同士がいい関わり合いを持ち、その関係の広がり同窓会の活性化につながると考えます。

皆様方が何らかの形で同窓会活動に携わっていただけますよう、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。



芸術学部
学部長

●
森田 克己

札幌大谷大学は、二〇〇六年北海道初の音楽学部開設を経て、二〇一二年芸術学部へと改組をし、音楽学科としては九年目、美術学科としては三年目を迎えています。私は、音楽学部並びに芸術学部の学部長の重責を八年間全うされた小林仁先生の後任として、今年の四月より芸術学部学部長に就任いたしました。

三年目を迎えた芸術学部のカリキュラムとしては、音楽学科と美術学科の両者の学生が履修できる学部共通専門科目に、例えば、芸術文化論・共同制作演習A（舞台）・共同制作演習B（映像）の科目等に特色があります。今年も、七月二十四日、共同制作演習A（舞台）においてオペラ「ヘンゼルとグレーテル」の成果発表を大谷記念ホールにて行いました。音楽学科及び美術学科の教員と学生たちによる見事な結末に感動いたしました。これらの科目群を通して、芸術学部としては、音楽学科並びに美術学科の各々の独自の専門教育をより豊かに拡充していくことを目指します。一方、学生たちは学外における顕著な活動を恒常的に展開しています。今年四月以降の活動としては、音楽学科では、各種コンクール・オーディションにおける入賞あるいは地域連携としての演奏会等、美術学科では、展覧会・各種公募展・コンペティションにおける入選・入賞あるいは地域連携としてのワークショップ・イベント主催等があげられます。

学生たちの意欲的かつ創造的な活動は大学の貴重な財産であると考えます。今後とも、同窓会のみなさまの暖かいご支援・ご鞭撻の程をよろしくお願い致します。



社会学部
学部長

●
平岡 祥孝

社会学部地域社会学科は、今年度三期生五十名の新生が入学しました。男子三十六名、女子十四名と、男女の割合が大きく変わりました。来年度四期では、女子の入学者を増やしたいと思っております。

ぜひお伝えしたいことは、一期生から三期生まで退学者ゼロを維持していることです（八月十六日時点）。ゼミナール担任制の下で、一人ひとりに目を行き届かせつつ、きめ細かい指導と支援が功を奏していると、私は確信している次第です。専任教員のみならず、非常勤講師の先生方も学生に目線を合わせて、丁寧な少人数授業を展開していただいております。学部の教育力の高さは特筆すべきことでしょう。

一期生は、夏期休業中にインターンシップⅢ（職場体験）に参加しました。来年から始まる就職活動に向けて「自分づくり」を充実させて欲しいと願っています。就職支援については、私は全力を傾ける決意です。

さる七月三十一日に釧路支部との共催で、社会学部教育講演会を開催させていただきました。また十一月二十二日には、函館市での同講演会の開催を予定しています。いつも同窓会からはご支援を賜わり、社会学部を代表して厚くお礼申し上げます。

同窓会会員お一人おひとりのご厚情を、末長く社会学部に賜わりますことを切にお願い申し上げます。



短期大学部保育科
学科長

●
柘植 純一

同窓会の皆様にはいつも大変お世話になっております。四月には一〇名の新生とともに二〇一四年度を迎えることができました。保育科は一九六一年に開設されて以来半世紀以上に渡って一度も定員を割ることなく歩むことができましたのは卒業生の皆様によるご支援の賜物と心より感謝申し上げます。本学保育科に入学する学生は保育者になるという強い目的意識を持っており卒業生のほとんどが幼稚園教諭免許状・保育士資格を生かした専門職に就いております。昨今の保育士不足の影響もあり、保育への就職を希望する学生の就職率はほぼ一〇〇%です。今春の卒業生一〇五名の卒業後の進路は幼稚園四十三名、保育所三十五名、認定こども園七名、保育所以外の福祉施設等二名、一般就職三名、専攻科等進学六名、家事・その他九名でした。また今年度の新しい取り組みとして五月から八月にかけて実務経験をもつ幼稚園教諭免許取得者を対象とした保育士資格取得の特例制度による講座を開講いたしました。懐かしい卒業生の皆様にお会いすることができ私たち保育科教員にとっても非常に有意義な時間になりました。この講座は来年度も開講予定です。今後札幌大谷の伝統を汚すことなく保育者養成に全力を注いでいきますので変わらぬご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

釧路支部



支部長 泉 洋子 音楽科12期

「今、考えること」

釧路地方も何とか夏らしい日々を迎え、あわただしく秋になる時候となりました。国内外を問わず天災・人災と喧しい世間にも一向かまわず、日々は過ぎてゆくようです。

さて釧路支部は五月に支部総会を終え、今年は特に事業の予定はありませんが、七月三十一日には大学と共催で、平岡祥孝教授の教育講演会「人材ニーズに対応する大学の学び」を開催し、同窓会員、一般の方など二十数名の出席をいただき、たいへん有意義なお話を聴かせていただきました。平岡先生のおはなしの中にもあったように、これからの大学のあり方、方向性など、又大学を一過性のものとしてず学びの原点としての位置付け、大学から多くのものを発信する事が大切なのではと考えさせられました。同窓会も同様で、今は明確に答えは出ませんが、そのような考え方ができればと漠然とではあります。が思ったりもし、私達も微力ながらそのお手伝いのできればと考えております。



十勝支部



支部長 高橋 亜香 音楽科20期

「音楽の力」

朝、目覚める度に、ああ今日も平穏だ、と感じている昨今です。世界の情勢が混沌として来て、こうして毎日を無事に過ごすことができることが何よりありがたく感じます。

今年度の十勝支部総会を六月二十九日に行い、十六名の参加者で楽しくも真剣な話し合いを致しました。その中で再来年度に支部創立十周年を迎える事から各会員からたくさん意見が出ました。保育科、美術科そして音楽科の良い所を広めていきたい（これからは社会学部もですが）と役員の中で考えていますが、まずは音楽を通じて活動をしようかという所にたどり着きました。私自身の事で恐縮ですが、音楽を追求する中で生まれた仲間とのつながりが私をほんの少しではありますが成長させてくれたと実感しております。人との直接の関わりが難しく薄くなったと言われる昨今ですが、あきらめずに地道な活動を続ければいつか必ず実を結ぶと信じて自分たちのできる事をやっていきたいと思えます。

これからも少しずつ同窓生の輪を広げていけるよう活動内容を精査して、より良いものにしていきます、と思っております。

オホーツク支部



支部長 横島 桂子 音楽科19期

「変わりゆく中で」

今年度に入り、総会前の幹事会から活動が始まりました。五月十一日（日曜日）に総会を行いました。その日は母の日であったため参加者五名と少なかったのですが、皆さんからは、葉書にて、近況報告や暖かい言葉をいただきました。

時の流れの中で皆さんの生活にも色々変化があり、オホーツク支部の活動も少しずつ変わっていかなくてはならないのだと感じています。

今年度の活動として出産した方が多かったため、ベビーマッサージなど保育科の方を中心に親睦を深めてはという案もありましたが中心となっていたただく方も今年八月に出産：というおめでたい事で、参加は無理という事でした。

幹事会で話し合った結果、八月三十一日（日曜日）に、ホテルのレストランにて、ミニコンサートを行いました。お茶とケーキで親睦会をいたしました。

大谷大学同窓会真心会オホーツク支部主催ミニコンサートと題して、出演者は、同窓生と、その知り合いなど外部の方にも出演していただき、ピアノ・クラリネット・声楽・フルート・会場合唱など、盛会に終わりました。

状況が変わっていく中で、小さな楽しみを見つけられるよう努力したいと思っております。

輝いて今……各科のなかまたち

「わらべうたに魅せられて」

布施 早苗 保育科19期



卒業後、小さい頃からの夢だった幼稚園の先生になったものの現実には思うようにいかず悩んでいた時、子どもとの距離を縮めてくれたのがわらべうたでした。子育てを楽しくしてくれたのもわらべうた。その魅力にひかれ夫の転勤先々で先生に就いて学びながら地域の子どもたちに伝えました。現在は親子わらべうたサークル、わらべうたの会（大人対象の勉強会）の代表をさせていただいています。また依頼を受けて出向いた先々で「わらべうたは人の心をつないでくれる」ことを実感し、様々な方との出会いがとても嬉しいのです。

遠い昔、生活や遊びの中から生まれ、伝承されてきたわらべうたは、私たちの祖先が残してくれた財産だと思っています。大切に子ども達に伝えていきたい。そんな強い思いを抱きながら、足りない自分をなんとかしようとしたばたしている毎日です。

「わらべうたを伝えるのなら、子どもを知ること、仲間を作ること、感性をみがぐこと、歌うことを努力して下さい。」という先生の言葉がいつも私の真ん中にあります。

まだまだ遠い道なのですが、あせらず一歩一歩進んでいきたいと思えます。

「卒業して今思うこと」

小川 由佳 音学学部3期



大学を卒業して二年半が経とうとしています。札幌大谷中学校・高等学校音楽科の講師として勤めながら、ソロやアンサンブル、伴奏などの演奏活動を行っています。仕事をしながら活動続けることは、体力気力ともに大変根気のいることです。それでも演奏を磨く努力を続けたい、勉強したいと思う気持ちは止められません。こうして続けることができるのは、周りの先生方や仲間の支えがあつてのこと。日々感謝しています。

現役大学生の実技試験伴奏を依頼される機会も多く、記念ホールや響流ホールで演奏できるのは嬉しいことです。

昨年度は、演奏を続けていく上で一つの目標であった札幌市民芸術祭新人音楽会に出演し、奨励賞を受賞することができました。高校、大学と大谷で学び、特に大学同期の仲間の活躍にたくさん刺激を受けました。これからも、好奇心と探求心を持ち続け、指導の面にも役立てながら、演奏活動にも力を注ぎ、音楽を通して社会に貢献していきたいと思えます。

「昨日の出来事」

経塚 真代 美術科34期



今年四月に人生三度目の造形作品展をさせていただきました。タイトルは「昨日の出来事」。

この六文字の言葉の裏側には今の作風に辿り着くまでのヒントがいくつも隠されていて、ここ数年でようやく自分と向き合う作品作りがスタートしたなど感じる様になりました。今後、自分自身にも作風にも更に深く関わっていくそんな言葉なのだろうと思います。そう考えさせられたのは、ある一人の女性との出会いがきっかけでした。

その方は個展を見に来てくださった帰り際に「昨日の出来事」という言葉の中に「日の出」という言葉が隠されているのね！」と言ったのです。

私の中にその言葉が一気に飛び込んできて、こんなに縁起の良い言葉を偶然に使っていた事の嬉しさや兆しや、彼女に対して抱いた敬意の念を昨日のこの様に今でも鮮明に覚えています。

何かを続けるといふ事は決して楽な事ではありませんが、その中でこうした出会いや発見も沢山あります。応援して下さる周りの方々への感謝の気持ちを忘れず今後とも日々精進し続けて行きたいと思えます。

谷の音会コンサート
オーディション

平成27年2月22日(日)
10:00～(予定)
本学中央棟4F 響流ホール
平成27年7月4日(土)
キラ小ホールで開催する
「谷の音会コンサート」の
出演者選出のオーディショ
ンです。(参加費無料)
たくさんのご参加お待ちし
ております。

道南支部懇談会

平成26年11月22日(土)
17:00～19:00
函館ロワジールホテル
(函館市若松町14-10)
道南支部の皆様との意見交
換の場としたいと考えてお
ります。
道南の皆様のご参加をお待
ちしております。
お食事をご用意いたしま
す。(参加費無料)

教育講演会 in 函館

平成26年11月22日(土)
14:00～15:30
函館ロワジールホテル
会議室
(函館市若松町14-10)
本学社会学部長平岡祥孝教
授による講演会です。
参加費無料、どなたでも参
加できます。
是非、ご参加ください。

キッズフェスティバル
(大学祭同時開催)

平成26年10月25日(土)
10:30～16:00
本学南棟3F 大教室
子どもたちに楽しんでもら
えるように、遊びのコー
ナーを用意しております。
是非遊びに来てください。

同窓生数

芸術学部	
音楽学科	171名
美術学科	46名
音楽学部	370名
保育科	4,779名
音楽科	4,398名
美術科	3,467名

計 13,231名
(2014年3月卒業まで) 編入者含む

3・14	平成27年	11・22	10・25	10・上旬	10・4	6・10 15	5・24	4・2	平成26年	《平成26年度事業ならびに活動予定》
式出席	大学学位記・修了授与	教育講演会「函館市」	キッズフェスティバル	同窓会だより38号発行	同窓会本部・支部臨時総会	第1回谷の会展	同窓会本部・支部合同会議及び総会	大学入学式出席		活動報告

平成25年度収支決算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

札幌大谷大学同窓会真心会

収入	10,085,317円
支出	7,278,415円
差引残高	2,806,902円(次年度繰越)

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
入会金	464,000	464,000	0	短大1年入学手続者 116名 @4,000
会費	3,290,000	3,135,500	0	短大在学生 223.5名 @3,000 大学在学生 380名 @5,000 卒業生 565名 570,000
積立金収入	0	2,000,000	△2,000,000	50周年事業費として積立金取り崩し
50周年会費	0	2,080,000	△2,080,000	祝賀会会費、御祝儀、協賛金等
雑収入	50,000	387,713	337,713	御祝儀50,000円、懇親会20,000円 預貯金利息、道南支部休会残金 積立解約金利息、谷の音会チケット
前年度繰越金	2,018,104	2,018,104	0	
合計	5,822,104	10,085,317	4,263,213	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
同窓会便り発行費	350,000	278,250	71,750	第37号印刷費 7,700部
同窓会便り発送費	700,000	627,826	72,174	発送費 @85.5 7,461通
消耗品費	20,000	66,410	△46,410	事務用品等
活動費	700,000	560,414	139,586	役員活動費、交通費
通信・連絡費	150,000	248,090	△98,095	総会案内ハガキ、資料発送費、電話代
印刷費	300,000	188,749	111,251	総会案内印刷、封筒、コピー代
会議費	600,000	409,559	190,441	役員会等費用
慶弔費	300,000	99,000	201,000	入学・卒業式、三科・支部祝花・香典・供花
補助費	400,000	200,000	200,000	支部@5万×4
データ管理費	60,000	52,500	7,500	名簿データベースメンテナンス
卒業記念品	400,000	291,550	108,450	25年度卒業生名簿、卒業記念品
支部関連費	400,000	501,574	△101,574	支部会議・交通・宿泊費等
行事費	1,430,000	689,908	740,092	第39回谷の音会コンサート、谷の会展会場費
備品費	8,000	50,410	△42,410	同窓会室ファックス
50周年関係支出	0	2,888,884	△2,888,884	式典会場費、祝賀会案内印刷等
雑費	4,104	125,291	△121,187	理事長・学長・事務方挨拶・振込手数料等
合計	5,822,104	7,278,415	-1,456,311	—

会費の納入方法が変更になりました

平成26年
4月1日より

【在学生（準会員）】

*平成26年4月1日入学生から

- ・入会金10,000円：入学時に納入
- ・終身会費20,000円：大学…4年次後期に納入
：短大…2年次後期に納入

*平成23年4月～平成25年4月までの入学生 (現2～4年生)

- ・入会金10,000円：入学時に納入
- ・卒業時に以下①②のどちらかを選択
 - ①終身会費20,000円：卒業時（正会員となった時）に納入
 - ②卒業後⑥年目より年会費1,000円を毎年納入
※年会費を選択した場合、卒業から5年間の
会費納入は免除

【卒業生（正会員）】

*正会員になってから6年未満の会員 (平成20年度～平成25年度の卒業生)

- 卒業してから5年分の会費免除。6年目から以下①②のどちらかを選択
- ①終身会費20,000円を納入
 - ②年会費1,000円を毎年納入

*正会員になってから6年以上の会員 (平成19年度以前の卒業生)

- 平成26年度より、以下①②のどちらかを選択
- ①終身会費20,000円を納入
 - ②年会費1,000円を毎年納入

会費納入についてのお問い合わせは同窓会室 FAX か gmail とします。

FAX/011-743-6466
gmail/ootanisinsinkai@gmail.com

札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部同窓会 真心会

第1回 キッズフェスティバル

日時：2014年10月25日（土） 10:30～16:00

会場：札幌大谷大学3階大教室

(札幌市東区北16条東9丁目1-1)

※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください

入場無料

「保育士資格取得特例講座」についてのお知らせ

保育科では平成26年度から幼稚園教諭免許をお持ちで、一定以上の実務経験のある方を対象とした保育士資格取得特例講座（通信制）を開講しています。

今年度5月末～8月上旬にかけて行われたスクーリングには57名の方が参加され、添削課題に取り組みました。

平成27年度も同様に前期期間中の週末と夏休みを利用してスクーリングを実施する予定です。

受講料は1科目1万円（この他に教科書代など実費負担有り）、本学卒業生は入学金が免除されます。

詳細が決定次第、本学HPに掲載いたします。

(お問い合わせ先：保育研究室 011-742-1679)

教育講演会「函館市」

人材ニーズに対応する大学の学び

講師 札幌大谷大学社会学部長 平岡 祥孝

講演内容

地域社会が求める人材はどのようなものか
 新聞を読むことが就職活動にとってどれほど重要か
 就職を希望する学生側の問題点や課題は何か
 求められる聴く力・話す力・理解する力とは何か
 英語・数学・国語から見た基礎学力の実態はどのようなものか
 大学選びとこれからの就職指導のあり方はどのようなものか

参加無料

日程 平成26年**11月22日(土)**

時間 **14:00~15:30**(受付13:30~)

会場 **ロワジールホテル函館**
函館市若松町 14 番 10 号

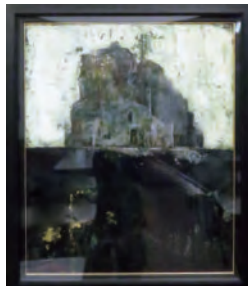
定員 **先着 30 名**

※定員になり次第締め切らせていただきます。

主催：札幌大谷大学、札幌大谷大学同窓会真心会



冬のうさぎ



マテラ



メテオラ I



メテオラ II

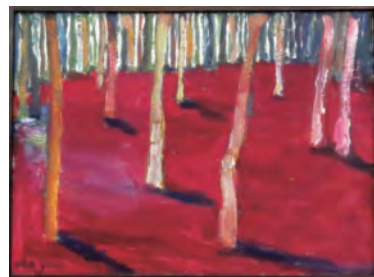
塚崎 聖子 (美 17) 昭和 57 年度 美術科油彩コース卒業 H26 4 月~9 月まで展示



うさぎ



cake



森



無題



雨雲の要素



家を見つけた。

小田 容子 (美 34) 平成 10 年度 美術科油彩コース卒業 H25 10 月~ H26 3 月まで展示

編集後記

天候不順の中、今年も
 便りをお届けする事が出
 来ました。編集に当り、
 ご協力下さった皆様本当
 に有難うございました。

(S)

- | | |
|------|--------------|
| 名誉会長 | 巖城孝憲 (学長) |
| 役員 | |
| 会長 | 小原明美 (音14期) |
| 副会長 | 澤田一枝 (音15期) |
| 副会長 | 安田澄子 (美8期) |
| 書記 | 長谷川礼子 (保16期) |
| 書記 | 石川有希子 (音30期) |
| 書記 | 経塚真代 (美34期) |
| 會計 | 谷原弥生 (保19期) |
| 會計 | 佐藤潤子 (美12期) |
| 庶務 | 藤川絵里子 (保28期) |
| 會計監査 | 長井いつみ (音12期) |
| 會計監査 | 永原まゆみ (美20期) |

同窓会ギャラリー
 本学食堂に展示

平成26年度真心会本部